

プログラム近況報告

2014年度(2013年10月1日～2014年9月30日)

World Vision

この子を救う。未来を救う。

バングラデシュ人民共和国 カルマカンダ地域開発プログラム(BGD-169848)



チャイルドストーリー

両親が教育の重要性を理解し、 定期的に学校に通えるようになりました

カルマカンダ地域開発プログラム(以下、ADP)の支援地域で暮らすイマム君は、農業を営む家族の5人目の子どもとして生まれました。家族は貧しく、安全な飲料水や十分な食料にも事欠く生活をしていました。両親は教育を受けたことがなく、子どもたちの教育にも無関心だったと言います。イマム君の上の3人の兄姉は、家族の生活を助けるために途中で学校をやめ、働いていました。

しかし、2008年にイマム君がワールド・ビジョン(以下、WV)のチャイルドとして登録されてから、生活は少しずつ改善していきました。両親は、保健、教育、農業、生計向上などの研修に参加するとともに、ADPスタッフの定期的な訪問を受け、子どもにとっての教育の重要性を認識するようになりました。イマム君は、ADPの子どもクラブに加入し、健康や子どもの権利について学ぶとともに、学用品や生活用品、医療サービスも受けることができるようになりました。学校での勉強にも熱心に取り組むようになりました。

8年生のクラスで熱心に勉強するイマム君(13歳)。5年生の時には2,000人の生徒の中から奨学金の支給対象者に選ばれました

現在は、高等教育へ進むことを目標に勉強に励んでいます。「WVの支援は私たちに希望をもたらしてくれました。イマム君がしっかりと教育を受け、将来村の役に立つ人間に育ててほしいと願っています」とイマム君の父親は話しています。



ADPの支援で家の近くにできた井戸。イマム君の家族を含む50世帯の貴重な水源として活用されています

経済開発プロジェクト

ADP 終了を見据えて、地域住民組織の育成に力を入れています

\$ 世帯の平均収入が **89 ドル** から **112 ドル** に増加

ADPの活動が地域に根付き、WVの撤退後も持続していくよう、地域住民が組織する開発グループ (CBO) の育成を図っています。合計37のCBOが活発に活動しており、メンバー数は約6,800人にのぼります。ADPではのべ約450人に縫製、染色、竹細工作りなどのトレーニングを実施。トレーニングを

受けた人々は、グループまたは個人として小規模ビジネスを行っています。これまでの活動の結果、世帯の平均月収は約89ドル (2012年) から約112ドルに増加しています。また、CBOの貯蓄額は約295,000ドルにのぼり、各CBOのメンバーが必要に応じて低利で融資を受けられるようになっています。



CBO が実施するバッグ作りの研修に参加する女性たち



生計向上のため縫製の技術を学ぶ女性たち



支援地域の女性のインタビュー

地域の人々の健康改善のために活動しています

Q. 子どもの頃学校に通いましたか。

5年生まで通いました。高等教育を受けたいと夢見ましたが、叶いませんでした。

Q. ADPのどのような活動に参加していますか。

栄養、障がい、HIV/エイズ対策、水と衛生などの研修を受け、また伝統的産婆としての訓練も受けて、地域の保健衛生委員会のメンバーとして活動してきました。具体的には、学んだ知識を地域の女性や子どもたちに伝える集会を開いたり、妊娠中の女性に産前産後の栄養や健康管理の重要性を伝えたりしています。

Q. ADPの支援を受けてどのような変化がありましたか。

研修で学んだ衛生や栄養に関する

知識は、実生活でも活用してきました。ADPの支援で地域に井戸ができ、家には清潔なトイレもできて感謝しています。また私自身の中に、家庭や地域を良くするために自分ができることをしようという気持ちが芽生えました。

Q. 今の夢を教えてください。

教育がいかに重要かを学び、教育費の支援も受けて、息子は大学院を修了し、娘も大学に通っています。子どもたちには良い職を得て充実した人生を送って欲しいです。また、地域のすべての母親と子どもたちが、健康に過ごせるようになることが私の願いです。



地域の保健衛生委員会のメンバーとして活動するジョツナさん (右、45歳)。娘 (中央) と夫 (左) とともに

保健衛生プロジェクト

母子保健と衛生環境の改善に取り組んでいます



予防接種を受けた子どもの割合が**78%**に増加

地域の保健衛生委員会や行政機関、NGOなどと連携しながら、産前産後の健診、子どもの予防接種などに関する啓発活動を実施しました。その結果、予防接種を受けた生後12～23カ月の子どもの割合が62%（2012年）から78%に増加し、バングラデシュの国平均（86%）に近づいています。また200カ所にトイレを設置し、以前整備した10基の井戸を管理するための管理委員会を組織しました。これまでの活動の結果、トイレを持つ世帯は28%（2012年）から43%に増加しています。しかし、洪水が多い土地柄などから子どもの下痢の発生率が依然として高く、継続して取り組む必要があります。



ADPの支援で家にトイレができました

巡回保健指導で医師からアドバイスを受ける母親

教育プロジェクト

子どもたちの教育の質の向上を目指しています

ADPの終了後も子どもたちが質の高い教育を受けられるよう、地域住民や行政機関、NGOなどと連携して活動しています。特に、PTAや地域住民から成る学校運営委員会（SMC）の強化に力を入れました。SMCのメンバーは定期的に各学校の教師とミーティングを行い、子どもたちの成績をモニタリングし、成績が芳しくない子どもたち約445人（小学校5年生以上）が補習授業を受けられるよう支援しました。また、11～16歳の子ども



445人の子どもたちに
補習授業を支援

たちを対象にしたライフ・スキル・トレーニング^{*}を実施し、800人が参加しました。

※ライフ・スキル・トレーニング

問題解決法、コミュニケーション・スキル、対人関係、チームワーク、決断の仕方、計画性など、生きていく上で必要な知識・技術を学ぶ研修。



ピア・エデュケーション（友だち同士で教え合う勉強法）について学ぶ生徒たち



地域のディベート大会に参加する生徒たち

ADP マネージャー・インタビュー



Q.どんな仕事をしていますか。

ADPの責任者として、予算に基づいたプロジェクトの企画運営、行政や関係機関との交渉や連携、プロジェクトの報告と評価、ADPスタッフの管理などを行っています。

Q.2014年の活動で困難だったことは何ですか。

総選挙に起因する政情不安の中、スタッフの安全に気を配りながら計画通りに活動を進めるのは大変でした。また、支援地域が竜巻と洪水で2度被害を受けたため、その緊急支援の実施は大きな仕事でした。

Q.WVで働く原動力となっているものは何ですか。

貧しい地域の人々の暮らしが全体として良くなるように支援し、WVが去った後も支援の効果が地域の人々によって引き継がれていくようにという戦略を持って活動しています。このような戦略を持って地域の人々とともに活動することに働き甲斐を感じています。



カルマカンダ ADP マネージャー
アンドリュー・ドロップダス (右から3人目)

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

チャイルドとの手紙の交流や毎年の成長報告などを通して、支援の成果を実感していただくための活動を行っています。チャイルドの成長を定期的にモニタリングし、支援事業がチャイルドとその家族、地域の人々の生活をどのように改善しているのか確認を行うほか、チャイルドの家族や地域の人たちが「子どもを中心とした開発」を理解し、支援活動の中心を担っていくような啓発活動も行っていきます。

現在、18の「子どもフォーラム」が活発に活動しています。メンバーは定期的にミーティングを開き、子どもの権利について学んだり、道路の修復作業に参加したりと、地域の抱える課題に積極的に取り組んでいます。特に貧しい世帯の子ども6人に対し、「子どもフォーラム」の貯蓄から試験や制服にかかる費用を支援するなど、子どもたち同士で助け合っています。



貧しい家庭の子どもたちに勉強を教える「子どもフォーラム」のメンバー

会計報告

BGD-169848

収支計算書 自2013年10月1日 至2014年9月30日

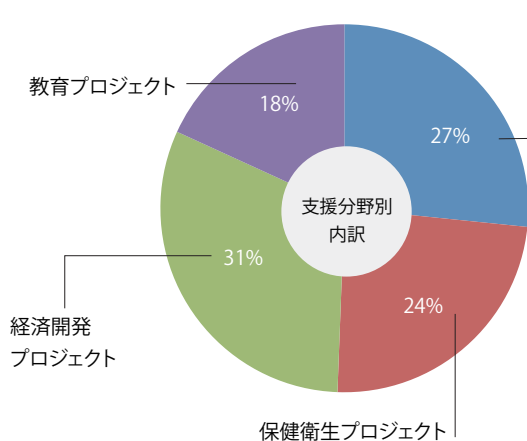
プログラム支援額(単位:円)

チャイルド・スポンサーシップ	59,082,762
当期支援額	59,082,762
前期繰越金	2,081,065
プログラム支援額合計	61,163,827

プログラム支出額

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	15,893,161
保健衛生プロジェクト	14,319,467
経済開発プロジェクト	18,645,787
教育プロジェクト	10,852,875
プログラム支出額合計	59,711,290
次期繰越額	1,452,537

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト



お問い合わせ

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン
電話 : 03-5334-5351 (平日 9:30 ~ 17:00)
FAX : 03-5334-5359

ワールド・ビジョン

検索

ホームページ : www.worldvision.jp
e-mail : dservice@worldvision.or.jp